

令和9年度 仙台高等専門学校専攻科

学生募集要項

情報電子システム工学専攻 生産システムデザイン工学専攻

推薦による選抜 社会人特別選抜	Web出願エントリー期間	令和8年4月24日(金) ~ 令和8年5月13日(水)
	出願書類受付期間	令和8年5月7日(木) ~ 令和8年5月13日(水)
	実施日	令和8年5月21日(木)
	合格者発表日	令和8年5月29日(金)
	入学確約書提出期限	令和8年6月4日(木)
学力検査による選抜	Web出願エントリー期間	令和8年5月22日(金) ~ 令和8年6月4日(木)
	出願書類受付期間	令和8年5月29日(金) ~ 令和8年6月4日(木)
	検査日	令和8年6月12日(金)
	合格者発表日	令和8年6月25日(木)
	入学意思確認書提出期限	令和8年9月17日(木)

令和8年3月



独立行政法人 国立高等専門学校機構

仙台高等専門学校

National Institute of Technology, Sendai College

問合せ先

広瀬キャンパス
〒989-3128
仙台市青葉区愛子中央四丁目16番1号
TEL: 022-391-5542 (学務課入試係)
FAX: 022-391-6146

名取キャンパス
〒981-1239
名取市愛島塩手字野田山48番地
TEL: 022-381-0254 (学生課教務係)
FAX: 022-381-0267

E-mail nyushi@sendai-nct.ac.jp ホームページ <https://www.sendai-nct.ac.jp>

出願 手 続 に つ い て

出願者は、Web出願エントリー期間内に、Web出願サイト上での手続を行ってください。また検定料のお支払いについても同サイト上から行うこととなります。検定料のお支払い後、「受験票」「写真票」が出力(印刷)可能となります。

Web出願サイト上でのWeb出願エントリー手続を完了した後、出願書類が出願書類受付期間内に本校に到着することをもって出願完了となります。

出 願 手 続 き の 流 れ

Web
出
願
エ
ン
ト
リ
ー

手順1 出願サイトへアクセス
ユーザー登録

手順2 入試区分等の選択

【全出願者対象】

入 試 区 分 の 選 択
(推薦による選抜・社会人特別選抜・学力検査による選抜)

【全出願者対象】

志 望 専 攻 の 選 択
(情報電子システム工学専攻・生産システムデザイン工学専攻)

【生産システムデザイン工学専攻の志願者のみ対象】

配 属 を 希 望 す る コ ー ス の 選 択
(生産システム工学コース・建築デザイン学コース)

【生産システム工学コースへの配属を希望する志願者のみ対象】

取 得 を 希 望 す る 学 位 の 区 分 の 選 択
(機械工学または電気電子工学・材料工学)

【学力検査による選抜に出願し、
生産システム工学コースへの配属を希望する志願者のみ対象】

受 験 す る 専 門 科 目 (2 科 目) の 選 択
(物 理 学 I ・ 物 理 学 II
(力学・熱分野) ・ (波動・電気分野) ・ 化 学)

手順3 出願者情報等の入力
顔写真アップロード

手順4 「申込内容確認書」印刷
内容確認

手順5 検定料支払い処理

【Web出願エントリー期間】

推薦による選抜	令和8年4月24日(金)～ 令和8年5月13日(水) 12時
社会人特別選抜	令和8年4月24日(金)～ 令和8年5月13日(水) 12時
学力検査による選抜	令和8年5月22日(金)～ 令和8年6月4日(木) 12時

Web出願エントリー手続のみでは
出願は完了しません。
出願書類受付期間内に、本校へ
出願書類を提出してください。

出
願
書
類
提
出

手順6 「受験票」「写真票」印刷

手順7 出願書類準備

手順8 出願書類提出
出願完了

【出願書類受付期間】

推薦による選抜	令和8年5月7日(木)～ 令和8年5月13日(水) 16時
社会人特別選抜	令和8年5月7日(木)～ 令和8年5月13日(水) 16時
学力検査による選抜	令和8年5月29日(金)～ 令和8年6月4日(木) 16時

*1 出願書類を郵送または持参してください。

*2 「受験票」は出願者にて保管し、試験当日に持参してください。受験票に受験番号が印字されていることを必ずご確認ください。

【参考】

Web出願サイト内の図解による利用ガイドの「インターネット出願」もあわせてご覧ください。

<https://www.mirai-compass.jp.net> (miraicompassのURL)

目 次

学生募集要項

I	アドミッションポリシー	1
II	募集人員及び選抜方法	1
III	選抜日程	1
IV	本校以外の教育機関出身者等に 対する留意事項	1
V	推薦による選抜	2
	1. 出願資格	2
	2. 出願期間及び提出先	2
	3. 出願書類等及び出願手続	3
	4. 選抜の方法	4
	5. 合格者の発表	4
	6. 入学確約書の提出	4
VI	社会人特別選抜	4
	1. 出願資格	4
	2. 出願期間及び提出先	5
	3. 出願書類等及び出願手続	5
	4. 選抜の方法	6
	5. 合格者の発表	6
	6. 入学意思確認書の提出	6
VII	学力検査による選抜	7
	1. 出願資格	7
	2. 出願期間及び提出先	7
	3. 出願書類等及び出願手続	7
	4. 選抜の方法	9
	5. 合格者の発表	10
	6. 入学意思確認書の提出	10
VIII	不正行為	10
IX	入学手続及び諸経費	11
X	長期履修学生制度	12
XI	その他	12

入学案内

《 共通事項 》

1. 専攻科の教育目標
2. 専攻科のディプロマポリシー
3. 専攻科カリキュラムポリシー

《 情報電子システム工学専攻 》

1. 目的
2. 情報電子システム工学専攻の
修業年限及び修了要件
3. 情報電子システム工学専攻の特色
4. 学位（学士）の取得方法
5. 情報電子システム工学プログラム
について
6. 修了後の進路

《 生産システムデザイン工学専攻 》

1. 目的
2. 生産システムデザイン工学専攻の
修業年限及び修了要件
3. 生産システムデザイン工学専攻の
特色
4. 学位（学士）の取得方法
5. 修了後の進路

添付書類

- ① 調査書
- ② 推薦書
- ③ 推薦書（本校準学士課程在籍者用）
- ④ 入学志願者自己調書
- ⑤ 受験承諾書（社会人特別選抜用）

令和9年度 仙台高等専門学校専攻科 学生募集要項

I アドミッションポリシー

本専攻科の入学者に期待される人間像及び入学者選抜の基本方針は、次のとおりです。

1. 入学者に期待される人間像

- 1) 自ら学ぶための基礎的な学力と資質を有する人
- 2) コミュニケーションの基本を身に付けた人
- 3) 社会の一員として、社会に貢献する気概を有する人
- 4) 自発的に問題を発見し、解決する意欲を有する人
- 5) 豊かな人間性を有する人

学力の三要素と期待される人間像の対応関係は以下の通りです。

- 「知識・技能」 1)
「思考力・判断力・表現力」 2)、4)
「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」 3)、4)、5)

2. 入学者選抜の基本方針

1) 学力検査による選抜

本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した人を、学力検査（英語（TOEIC スコア利用）、数学、専門）と調査書の総合評価によって選抜します。

2) 推薦による選抜

在籍高専の成績が優秀で、学校長から推薦された志願者のうち、本校の期待する人間像に合致する人を、調査書及び面接の総合評価によって選抜します。

さらに、生産システムデザイン工学専攻ではTOEICに基づく英語能力を評価に加えます。

3) 社会人特別選抜

本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した人を、出身学校の調査書、自己推薦書、小論文及び面接の総合評価によって選抜します。

II 募集人員及び選抜方法

専攻名	入学定員	募集人員・選抜方法		
		推薦による選抜	学力検査による選抜	社会人特別選抜
情報電子システム工学専攻	30名	15名	15名	若干名
生産システムデザイン工学専攻	40名	20名	20名	若干名

※入学定員には、外国人留学生特別選抜により入学する若干名が含まれます。

III 選抜日程

選抜方法	出願期間		実施日・検査日	合格者発表日
	Web出願エントリー	出願書類受付		
推薦による選抜	令和8年4月24日(金)	令和8年5月7日(木)	令和8年 5月21日(木)	令和8年 5月29日(金)
社会人特別選抜	～5月13日(水)12時	～5月13日(水)16時		
学力検査による選抜	令和8年5月22日(金)	令和8年5月29日(金)	令和8年 6月12日(金)	令和8年 6月25日(木)
	～6月4日(木)12時	～6月4日(木)16時		

IV 本校以外の教育機関出身者等に対する留意事項

本校以外の教育機関出身者（本校でキャンパスが異なる場合も含む）又は本校出身者で令和9年3月に本校の本科を卒業見込みの者と異なる教育課程で教育を受けた者（推薦による選抜、社会人特別

選抜、学力検査による選抜のいずれも該当)は、以下の理由により、出身校等で取得した授業科目について確認する必要がありますので、遅くとも出願書類受付開始日3週間前までに、本校学務課学務係(情報電子システム工学専攻 TEL:022-391-5537)又は学生課教務係(生産システムデザイン工学専攻 TEL:022-381-0265)にお問い合わせください。

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の「学士の学位の授与に係る特例の適用認定(特例認定)」の適用を受けられるかを確認する必要があります。確認の結果によっては、専攻科修了要件を満たしても、特例認定の対象にならず通常の学位申請になる場合があります。なお、学位(学士)の取得方法については15ページ及び21ページを参照してください。

また、本校の情報電子システム工学専攻のJABEE教育プログラムの修了を希望する者に対して、プログラムの修了要件を満たすことが可能か確認する必要があります。なお、詳細は14～18ページを参照してください。

V 推薦による選抜

1. 出願資格

令和9年3月に高等専門学校を卒業見込みの者で、学校長が成績及び人物共に優れていると認めて推薦するもの

(成績については、高等専門学校3年次及び4年次における成績が、別に示す評価ポイントに換算して、「情報電子システム工学専攻は2.80以上」、「生産システムデザイン工学専攻は2.50以上」であることを目安とする。)

【評価ポイントの計算方法】

- ・下記の表によりポイントを算出し、計算式に当てはめて計算すること。

	評 価		ポ イ ン ト	評 価	ポ イ ン ト
	点 数	4 段 階		3 段 階	
合 格	100～90 点	S	4	A	3.5
	89～80 点	A	3		
	79～70 点	B	2	B	2
	69～60 点	C	1	C	1

(計算式)

$$\frac{(\text{ポイント4の単位数} \times 4) + (\text{ポイント3の単位数} \times 3) + (\text{ポイント2の単位数} \times 2) + (\text{ポイント1の単位数})}{\text{全対象科目の単位数}}$$

- ・3年次及び4年次の授業科目のうち、点数又は段階評価による成績が付いた科目を対象とする。他高専、大学等との単位互換科目や資格による認定科目、合否のみで評価の付かない科目は対象外とする。
- ・段階評価を点数評価に置き換えることができる場合は、点数評価によりポイントを求める。3段階評価で点数評価に置き換えられない場合は、上記の表によりポイントを求める。
- ・評価ポイントに端数が出る場合は、小数点第3位で切り捨てとする。

2. 出願期間及び提出先

- (1) Web出願エントリー期間

令和8年4月24日(金)から令和8年5月13日(水)12時

- (2) 出願書類受付期間

令和8年5月7日(木)から令和8年5月13日(水)16時

- (3) 出願書類受付時間 9時から16時まで

- (4) 出願書類提出先

《 情報電子システム工学専攻 》

仙台高等専門学校広瀬キャンパス 学務課入試係

〒989-3128 仙台市青葉区愛子中央四丁目16番1号

《 生産システムデザイン工学専攻 》

仙台高等専門学校名取キャンパス 学生課教務係
〒 981-1239 名取市愛島塩手字野田山4 8 番地

※ 専攻により提出先が異なりますので注意してください。

3. 出願書類等及び出願手続

- (1) 出願者は、Web出願エントリー期間内に、Web出願サイト上で必要事項の入力及び検定料(16,500円)の納付を行い、エントリーを完了してください。
- (2) 出願者は、出願書類提出期間内に、次の書類等を整え、在籍高等専門学校を経て入試係又は教務係へ提出してください。
②～④の本校所定の様式は、本校ホームページからダウンロードのうえ使用してください。

出 願 書 類 等	摘 要
① 写 真 票	Web出願エントリー完了後に出力できる「受験票・写真票」を印刷して、「写真票」のみ切り離したもの。顔写真データをアップロードしていない場合は、写真票の所定の位置に顔写真を貼付してください。 (写真は縦4cm×横3cm、出願の3か月以内に撮影した、上半身、脱帽、正面向きのもの)
② 推 薦 書	本校所定の様式を使用し、在籍学校長が作成したもの。 ただし、本校の準学士課程に在籍する者が出願する場合は、所属するコースの長が作成したものを提出してください。
③ 入学志願者自己調書	本校所定の様式を使用し、出願者自身が作成したもの。
④ 調 査 書	本校所定の様式を使用し、在籍学校長が作成し厳封したもの。 なお、高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校の調査書も併せて添付してください。情報電子システム工学専攻の志願者は、学年席次が記載されている必要があります。提出が難しい場合は、本校学務課入試係に申し出てください。 (※調査書には、成績証明書を添付する必要があります。)
⑤ TOEICスコア	生産システムデザイン工学専攻に出願する者は、次のいずれかにより提出してください。 TOEIC「公式認定証」の場合 ・紙媒体の場合は原本(コピー不可、原本は確認後に返却します。) ・デジタル形式の場合は印刷したもの(ただし、出願期間までに公式ホームページ等で確認することが可能であること。) TOEIC-IP「スコアレポート」の場合(ただし、オンライン版の試験を利用したTOEIC-IPのスコアは出願書類として利用できません。) ・原本(コピー不可、原本は確認後に返却します。)
⑥ そ の 他	外国籍を有する志願者は、市区町村長の発行する住民票の写し(又は住民票記載事項証明書 *全事項が証明されているもの)を提出してください。

(3) 出願及び受験上の注意事項

- ① 郵送での出願は、必ず「簡易書留郵便」とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きし、**令和8年5月13日(水)16時まで**入試係又は教務係へ到着するようにしてください。
- ② 出願書類に不備のあるものは受理できません。また、出願書類提出後は、記載事項の変更は認められません。ただし、現住所(連絡先)に変更が生じた場合は、速やかに入試係又は教務係に申し出てください。
- ③ 出願書類に虚偽の記載事項があった場合は、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。また、受理した出願書類等は返還しません。
- ④ 障害等を理由に入学者選抜における合理的配慮の提供を希望する場合は、早めに本校学務課入試係までご相談ください。合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、入学願書提出期限の1ヵ月前を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。なお、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は合否判定には一切影響ありません。
- ⑤ 前年度の入学者選抜試験実施日から、当該年度の入学者選抜試験実施日の前日までの間に被災し、以下の(ア)又は(イ)に該当する出願者は、申請により検定料の免除を行います。免除を申請される方

は、必ず事前に入試係又は教務係に申し出てください。

- (ア) 本人または学資負担者が、災害救助法の適用を受けた地域で被災し、居住する家屋が半壊以上(床上浸水を含む。)の被害を受けた場合
 - (イ) 学資負担者が災害救助法の適用を受けた地域で被災し、死亡(行方不明を含む。)した場合
- ⑥ 納付済の検定料は、次の場合のみ振込手数料を差し引いて返還しますので、入試係までお問い合わせください。それ以外の場合は、いかなる理由があっても返還しません。
- ・検定料を納付したが出願しなかった又は出願が受理されなかった場合
 - ・検定料を誤って二重に納付した場合

4. 選抜の方法

推薦による選抜は、在籍学校長(本校準学士課程在籍者の場合はコース主任)から提出された推薦書、調査書、入学志願者自己調書及び面接の結果を総合判定して行います。

なお、生産システムデザイン工学専攻では、上記に加え、英語能力(TOEICスコアによる)も評価します。

(1) 実施日 令和8年5月21日(木) 10時から

(2) 受験地 情報電子システム工学専攻 → 仙台高等専門学校広瀬キャンパス
生産システムデザイン工学専攻 → 仙台高等専門学校名取キャンパス

※ 集合時間・場所等の詳細については、別途お知らせします。

(3) 選抜当日の持ち物

- ① 受験票(事前に出力し持参してください。)
- ② 黒鉛筆またはシャープペンシル(いずれもBかHB以上の濃さのもの。なお、格言等が印刷されているものは使用できません。)
- ③ プラスチック製の消しゴム
- ④ 腕時計(スマートウォッチや、計算機能等の特殊機能があるものは使用できません。)

5. 合格者の発表

令和8年5月29日(金) 15時(予定)に合格者の受験番号を受験したキャンパスに掲示するほか、合格者に「合格通知書」を送付します。

また、同時刻以降に本校ホームページ(<https://www.sendai-nct.ac.jp>)に掲載します。

電話・ファックス・メール等による合否の照会には一切応じません。

6. 入学確約書の提出

推薦による選抜に合格した者は、入学意思の確認のため令和8年6月4日(木)までに「入学確約書」を提出してください。入学確約書を提出しない者は、本校に入学の意思がないものとして取り扱います。

VI 社会人特別選抜

1. 出願資格

入学までに有職経験(※)がおおむね1年以上ある者で、次の(1)から(7)のいずれかに該当するもの

- (1) 高等専門学校を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができるもの
- (4) 外国において学校教育における14年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) その他本校の専攻科において高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

※ 出願資格(4)～(7)で出願しようとする者は、出願資格等の確認をしますので、令和8年4月27

- 日(月)までに入試係又は教務係へ電話等により照会してください。
- ※ 有職経験には、常勤・非常勤の別はありません。ただし、主たる身分が学生の場合、アルバイト等は有職経験には含みません。なお、有職経験のない者の出願は受け付けません。

2. 出願期間及び提出先

- (1) Web出願エントリー期間
令和8年4月24日(金)から令和8年5月13日(水) 12時
- (2) 出願書類受付期間
令和8年5月7日(木)から令和8年5月13日(水) 16時
- (3) 出願書類受付時間 9時から16時まで
- (4) 出願書類提出先
- << 情報電子システム工学専攻 >>
 仙台高等専門学校広瀬キャンパス 学務課入試係
 〒989-3128 仙台市青葉区愛子中央四丁目16番1号

- << 生産システムデザイン工学専攻 >>
 仙台高等専門学校名取キャンパス 学生課教務係
 〒981-1239 名取市愛島塩手字野田山48番地

※ 専攻により提出先が異なりますので注意してください。

3. 出願書類等及び出願手続

- (1) 出願者は、Web出願エントリー期間内に、Web出願サイト上で必要事項の入力及び**検定料(16,500円)**の納付を行い、エントリーを完了してください。
- (2) 出願者は、出願書類提出期間内に、次の書類等を整え、在籍高等専門学校を経て入試係又は教務係へ提出してください。
- ②～⑤の本校所定の様式は、本校ホームページからダウンロードのうえ使用してください。

出 願 書 類 等	摘 要
① 写 真 票	Web出願エントリー完了後に出力できる「受験票・写真票」を印刷して、「写真票」のみ切り離したものを。顔写真データをアップロードしていない場合は、写真票の所定の位置に顔写真を貼付してください。 (写真は縦4cm×横3cm、出願の3か月以内に撮影した、上半身、脱帽、正面向きのもの)
② 受験承諾書	本校所定の様式を使用し、勤務先の所属長が作成したもの。ただし、在職のまま入学する者に限る。(社印等のあるもの)
③ 在職証明書	在職期間、職務内容、身分を記載し所属長の発行したもの。 (様式任意、社印等のあるもの)
④ 入学志願者自己調書	本校所定の様式を使用し、出願者自身が作成したもの。
⑤ 調 査 書	本校所定の様式を使用し、出身学校長が作成し厳封したもの。 なお、高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校の調査書も併せて添付してください。情報電子システム工学専攻の志願者は、学年席次が記載されている必要があります。提出が難しい場合は、本校学務課入試係に申し出てください。 (※調査書には、成績証明書を添付する必要があります。)
⑥ そ の 他	外国籍を有する志願者は、市区町村長の発行する住民票の写し(又は住民票記載事項証明書 *全事項が証明されているもの)を提出してください。

(3) 出願及び受験上の注意事項

- ① 郵送での出願は、必ず「**簡易書留郵便**」とし、封筒の表に「**専攻科出願書類在中**」と朱書きし、**令和8年5月13日(水) 16時まで**入試係又は教務係へ到着するようにしてください。
- ② 出願書類に不備のあるものは受理できません。また、出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。ただし、現住所(連絡先)に変更が生じた場合は、速やかに入試係又は教務係に申し出てください。
- ③ 出願書類に虚偽の記載事項があった場合は、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。また、受理した出願書類等は返還しません。
- ④ 障害等を理由に入学者選抜における合理的配慮の提供を希望する場合は、早めに本校学務課入試係までご相談ください。合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、入学願書提出期限の1ヵ月前を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。なお、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は合否判定には一切影響ありません。
- ⑤ 前年度の入学者選抜試験実施日から、当該年度の入学者選抜試験実施日の前日までの間に被災し、以下の(ア)又は(イ)に該当する出願者は、申請により検定料の免除を行います。免除を申請される方は、必ず事前に入試係又は教務係に申し出てください。
 - (ア) 本人または学資負担者が、災害救助法の適用を受けた地域で被災し、居住する家屋が半壊以上(床上浸水を含む。)の被害を受けた場合
 - (イ) 学資負担者が災害救助法の適用を受けた地域で被災し、死亡(行方不明を含む。)した場合
- ⑥ 納付済の検定料は、次の場合のみ振込手数料を差し引いて返還しますので、入試係までお問い合わせください。それ以外の場合は、いかなる理由があっても返還しません。
 - ・検定料を納付したが出願しなかった又は出願が受理されなかった場合
 - ・検定料を誤って二重に納付した場合

4. 選抜の方法

社会人特別選抜は、出身学校長から提出された調査書、入学志願者自己調書、小論文検査及び面接の結果を総合判定して行います。

- (1) 検査日 令和8年5月21日(木) 10時から
- (2) 受験地 情報電子システム工学専攻 → 仙台高等専門学校広瀬キャンパス
生産システムデザイン工学専攻 → 仙台高等専門学校名取キャンパス

※ 集合時間・場所等の詳細については、別途お知らせします。

(3) 選抜当日の持ち物

- ① 受験票(事前に出力し持参してください。)
- ② 黒鉛筆またはシャープペンシル(いずれもBかHB以上の濃さのもの。なお、格言等が印刷されているものは使用できません。)
- ③ プラスチック製の消しゴム
- ④ 腕時計(スマートウォッチや、計算機能等の特殊機能があるものは使用できません。)

5. 合格者の発表

令和8年5月29日(金) 15時(予定)に合格者の受験番号を受験したキャンパスに掲示するほか、合格者に「合格通知書」を送付します。

また、同時刻以降に本校ホームページ(<https://www.sendai-nct.ac.jp>)に掲載します。

電話・ファックス・メール等による合否の照会には一切応じません。

6. 入学意思確認書の提出

社会人選抜に合格した者は、入学意思の確認のため令和8年6月4日(木)までに「入学意思確認書」を提出してください。入学意思確認書を提出しない者は、本校に入学の意思がないものとして取り扱います。

Ⅶ 学力検査による選抜

1. 出願資格

- (1) 高等専門学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者（令和9年3月修了見込みの者を含む）のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができるもの
- (4) 外国において学校教育における14年の課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- (7) その他本校の専攻科において高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※ 出願資格(4)～(7)で出願しようとする者は、出願資格等の確認をしますので、令和8年5月25日（月）までに入試係又は教務係まで電話等により照会してください。

2. 出願期間及び提出先

- (1) Web出願エントリー期間
令和8年5月22日（金）から令和8年6月4日（木）12時
- (2) 出願書類受付期間
令和8年5月29日（金）から令和8年6月4日（木）16時
- (3) 出願書類受付時間 9時から16時まで
- (4) 出願書類提出先

◀ 情報電子システム工学専攻 ▶

仙台高等専門学校広瀬キャンパス 学務課入試係
〒989-3128 仙台市青葉区愛子中央四丁目16番1号

◀ 生産システムデザイン工学専攻 ▶

仙台高等専門学校名取キャンパス 学生課教務係
〒981-1239 名取市愛島塩手字野田山48番地

※ 専攻により提出先が異なりますので注意してください。

3. 出願書類等及び出願手続

- (1) 出願者は、Web出願エントリー期間内に、Web出願サイト上で必要事項の入力及び検定料(16,500円)の納付を行い、エントリーを完了してください。
- (2) 出願者は、出願書類提出期間内に、次の書類等を整え、在籍高等専門学校を経て入試係又は教務係へ提出してください。
②の本校所定の様式は、本校ホームページからダウンロードのうえ使用してください。

出 願 書 類 等	摘 要
① 写 真 票	Web出願エントリー完了後に出力できる「受験票・写真票」を印刷して、「写真票」のみ切り離したもの。顔写真データをアップロードしていない場合は、写真票の所定の位置に顔写真を貼付してください。 (写真は縦4cm×横3cm、出願の3か月以内に撮影した、上半身、脱帽、正面向きのもの)

② 調査書	<p>本校所定の様式を使用し、在籍又は出身学校長が作成し厳封したもの。 情報電子システム工学専攻の志願者は、学年席次が記載されている必要があります。提出が難しい場合は、本校学務課入試係に申し出てください。</p> <p>※ 調査書には、成績証明書を添付する必要があります。</p> <p>※ 出願資格(1)、(3)、(4)、(5)により出願する者は、それぞれ下記の書類を提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出願資格(1)により出願する者で、高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校の調査書も添付してください。 ・ 出願資格(3)により出願する者は、次の証明書等を併せて提出してください。 <ul style="list-style-type: none"> ① 専修学校が発行する修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が1,700時間以上の専門課程を修了したこと、又は修了見込みであることを証明する証明書 ② 専修学校の専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類 ・ 出願資格(4)、(5)により出願する者は、出願資格に係る最終学校の成績証明書をもって代えます。修了証明書等があるときは当該書類も添付してください。
③ TOEICスコア	<p>次のいずれかにより提出してください。</p> <p>TOEIC「公式認定証」の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 紙媒体の場合は原本（コピー不可、原本は確認後に返却します） ・ デジタル形式の場合は印刷したもの（ただし、出願期間までに公式ホームページ等で確認することが可能であること） <p>TOEIC-IP「スコアレポート」の場合（ただし、<u>オンライン版の試験を利用したTOEIC-IPのスコアは出願書類として利用できません</u>）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原本（コピー不可、原本は確認後に返却します）
④ その他	<p>外国籍を有する志願者は、市区町村長の発行する住民票の写し（又は住民票記載事項証明書 *全事項が証明されているもの）を提出してください。</p>

(3) 出願及び受験上の注意事項

- ① 郵送での出願は、必ず「**簡易書留郵便**」とし、封筒の表に「**専攻科出願書類**在中」と朱書きし、**令和8年6月4日(木) 16時まで**入試係又は教務係へ到着するようにしてください。
- ② 出願書類に不備のあるものは受理できません。また、出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。ただし、現住所（連絡先）に変更が生じた場合は、速やかに入試係又は教務係に申し出てください。
- ③ 出願書類に虚偽の記載事項があった場合は、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。また、受理した出願書類等は返還しません。
- ④ 障害等を理由に入学者選抜における合理的配慮の提供を希望する場合は、早めに本校学務課入試係までご相談ください。合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、入学願書提出期限の1ヵ月前を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。なお、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は合否判定には一切影響ありません。
- ⑤ 前年度の入学者選抜試験実施日から、当該年度の入学者選抜試験実施日の前日までの間に被災し、以下の(ア)又は(イ)に該当する出願者は、申請により検定料の免除を行います。免除を申請される方は、必ず事前に入試係又は教務係に申し出てください。
 - (ア) 本人または学資負担者が、災害救助法の適用を受けた地域で被災し、居住する家屋が半壊以上（床上浸水を含む。）の被害を受けた場合
 - (イ) 学資負担者が災害救助法の適用を受けた地域で被災し、死亡（行方不明を含む。）した場合
- ⑥ 納付済の検定料は、次の場合のみ振込手数料を差し引いて返還しますので、入試係までお問い合わせください。それ以外の場合は、いかなる理由があっても返還しません。
 - ・ 検定料を納付したが出願しなかった又は出願が受理されなかった場合
 - ・ 検定料を誤って二重に納付した場合

4. 選抜の方法

学力検査による選抜は、在籍又は出身学校長から提出された調査書、学力検査の結果の内容等を総合判定して行います。配点は以下のとおりです。

《 情報電子システム工学専攻 》

学力検査（数学 100 点満点、専門科目[電気回路]70 点満点、専門科目[電磁気学]65 点満点、専門科目[情報基礎]65 点満点、英語 100 点満点の合計 400 点満点）及び調査書等（30 点満点）の総合評価点（430 点満点）で判定します。

なお、総合評価点が専攻の定める基準に達しない場合、不合格となることがあります。

《 生産システムデザイン工学専攻 》

学力検査（数学 100 点満点の 2 倍、専門科目 2 科目選択各 100 点満点、英語 100 点満点の合計 500 点満点）及び調査書等（50 点満点）の総合評価点（550 点満点）で判定します。

なお、総合評価点が専攻の定める基準に達しない場合、不合格となることがあります。

(1) 検査日 令和8年6月12日（金）

(2) 受験地 情報電子システム工学専攻 → 仙台高等専門学校広瀬キャンパス
生産システムデザイン工学専攻 → 仙台高等専門学校名取キャンパス

※ 集合時間・場所等の詳細については、別途お知らせします。

(3) 出題科目

【情報電子システム工学専攻（広瀬キャンパス）】

英 語	TOE I C（TOE I C-I P含む）のスコアを利用
専門科目	(1) 電気回路 ・直流回路 ・交流回路 ・過渡現象（RC回路、RL回路） (2) 電磁気学 ・静電気 ・磁気 (3) 情報基礎 ・基礎理論（2進数、基数、数値表現、演算精度、集合、ベン図、論理演算、命題） ・アルゴリズムとプログラム （データ構造、アルゴリズム、C言語を用いたプログラム）
数 学	基礎数学・微分積分・代数幾何・微分方程式・フーリエ解析

【生産システムデザイン工学専攻（名取キャンパス）】

英 語	TOEIC (TOEIC-IP含む) のスコアを利用
専門科目	<p>生産システム工学コースは、「物理学Ⅰ（力学・熱分野）」、「物理学Ⅱ（波動・電気分野）」、「化学」の3科目から2科目を選択 ※分野の詳細は、高専モデルコアカリキュラム（Ⅱ-A、Ⅱ-C）に記載の内容になります。</p> <p>建築デザイン学コースは、「建築デザイン学A（建築計画〔都市計画、建築史、人間工学を含む〕、建築材料）」、「建築デザイン学B（建築環境工学、構造力学）」の2科目 ※両コースともに電卓を使用する計算問題を出題することがあります。 使用する電卓は、本校で貸与します。</p>
数 学	基礎数学・微分積分・代数幾何・微分方程式

(4) 学力検査の時間

科 目	情報電子システム工学専攻	生産システムデザイン工学専攻
専 門 科 目	9 : 0 0 ~ 1 0 : 3 0	1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0
数 学	1 0 : 5 0 ~ 1 2 : 2 0	1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 3 0

(5) 選抜当日の持ち物

- ① 受験票（事前に出力し持参してください。）
- ② 黒鉛筆またはシャープペンシル（いずれもBかHB以上の濃さのもの。なお、格言等が印刷されているものは使用できません。）
- ③ プラスチック製の消しゴム
- ④ 腕時計（スマートウォッチや、計算機能等の特殊機能があるものは使用できません。）

5. 合格者の発表

令和8年6月25日（木）15時（予定）に合格者の受験番号を受験したキャンパスに掲示するほか、合格者に「合格通知書」を送付します。

また、同時刻以降に本校ホームページ（<https://www.sendai-nct.ac.jp>）に掲載します。

電話・ファックス・メール等による合否の照会には一切応じません。

6. 入学意思確認書の提出

学力検査による選抜に合格した者は、入学意思の確認のため、令和8年9月17日（木）までに「入学意思確認書」を提出してください。入学意思確認書を提出しない者は、本校に入学の意思がないものとして取り扱います。

VIII 不正行為

(1) 受験時に次の不正行為を行った場合、その場で受験の中止及び検査場からの退出を指示し、それ以降の受験はできなくなります。また、全ての検査項目の成績を無効とします。

- ① 受験票・写真票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票・写真票に本人以外の写真を使用することや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
- ② カンニング（試験の教科に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教

科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。)をすること。

- ③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
 - ④ 配付された問題用紙を、その検査時間が終了する前に検査室から持ち出すこと。
 - ⑤ 解答用紙を検査室から持ち出すこと。
 - ⑥ 「解答はじめ。」の指示の前に、問題用紙を開いたり解答を始めること。
 - ⑦ 検査時間中に、定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む。)、コンパス、電卓(検査当日に本校から貸与され、使用を許可された物を除く。)、そろばん、グラフ用紙等の補助具や、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス等。)、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレイヤー等の電子機器類を使用すること。
 - ⑧ 「解答やめ。筆記用具を置いてください。」の指示に従わず、筆記用具を持っていたり解答を続けること。
- (2) 上記(1)以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは(1)と同様です。
- ① 検査時間中に、(1)⑦に挙げる補助具や電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をカバン等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすること。
 - ② 検査時間中に、携帯電話や時計等の音(着信・アラーム・振動音など。)を長時間鳴らすなど、検査の進行に影響を与えること。
 - ③ 試験に関係する書き込みを、指示された用紙以外に記入すること。
 - ④ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申し出をすること。
 - ⑤ 検査場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ⑥ 検査場において検査監督者等の指示に従わないこと。
 - ⑦ その他、検査の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

IX 入学手続及び諸経費

- (1) 入学手続期限：令和9年3月11日(木)(予定)
合格者に別途通知します。
- (2) 提出書類：合格者に別途通知します。
- (3) 入学手続時に納入する経費
・入学金 84,600円
- (4) 授業料 234,600円(年額)
前期分(4月～9月)及び後期分(10月～3月)の授業料各117,300円は、前期は5月に、後期は10月に金融機関口座から自動引き落としとなります。
※ 上記の経費等の金額は、関係規則の改正により改定されることがあります。

《高等教育の修学支援新制度》

「大学等における修学の支援に関する法律」により、本人の学修状況による「学業成績等に係る基準」と、家計状況が住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯であることを要件とする「家計に係る基準」の両方を満たす場合に、日本学生支援機構の給付型奨学金の支給や、授業料及び入学金の減免措置が行われる制度があります。

※多子世帯(扶養する子供が3人以上いる世帯)については、「家計に係る基準」を満たさない場合でも授業料及び入学金の減免措置の対象となります。

《入学金免除・徴収猶予制度》

入学前1年以内において、学資負担者の死亡又は風水害等の災害を受けたことにより経済的に入学金の納付が困難であると認められる者に対し、申請にもとづき選考の上、入学金を免除又はその徴収を猶予する制度があります。

《授業料免除・徴収猶予制度》

授業料の各期の納付期限前6月以内（入学した日の属する期分の免除に係る場合は、入学前1年以内）において、学資負担者の死亡又は風水害等の災害を受けたことにより経済的に納付が困難であると認められる者に対し、申請にもとづき選考の上、授業料の全額又は半額を免除することがあります。また、授業料の徴収を猶予する制度、月割り分納の制度があります。

《奨学金制度》

日本学生支援機構の規定に基づき、学業・人物共に優れ、かつ健康であって学資の支弁が困難と認められる者に対して、本人の申請に基づき、選考の上、日本学生支援機構から奨学金が貸与される制度があります。

X 長期履修学生制度

本専攻では、職業等を有している等の事情によって、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを願った者については、審査の上許可することがあります。この制度の適用者は「長期履修学生」といい、当該学生の授業料支払総額は、標準修業年限による修了者と同じです。詳細については下記へ問い合わせてください。

《情報電子システム工学専攻》 広瀬キャンパス学務課学務係 (TEL 022-391-5537)

《生産システムデザイン工学専攻》 名取キャンパス学生課教務係 (TEL 022-381-0265)

XI その他

(1) 個人情報に関する取扱いについて

志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた検査成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として使用するとともに、次の目的のためにのみ利用します。

- ① 入学後の教育・指導
- ② 入学料、授業料の免除申請の審査
- ③ 奨学金申請の審査
- ④ 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
- ⑤ 学生証の作成

(2) 入試情報の開示について

入学試験成績の開示請求については、下記に問い合わせてください。

《情報電子システム工学専攻》 広瀬キャンパス 学務課入試係
(TEL 022-391-5542)

《生産システムデザイン工学専攻》 名取キャンパス 学生課教務係
(TEL 022-381-0254)

(3) 受験のための宿泊の斡旋は行っていません。

(4) 出願等に関し不明な点があるときは、下記まで電話又は書面で問い合わせてください。

《情報電子システム工学専攻》

仙台高等専門学校 広瀬キャンパス 学務課入試係 TEL 022-391-5542
〒989-3128 仙台市青葉区愛子中央四丁目16番1号

《生産システムデザイン工学専攻》

仙台高等専門学校 名取キャンパス 学生課教務係 TEL 022-381-0254
〒981-1239 名取市愛島塩手字野田山48番地

入学案内

共通事項

1. 専攻科の教育目標

1. 主体性と協調性をもつ人間性豊かな人材の養成
2. 広く深い視野をもつ実践的で創造的な技術者の養成
3. 地域や国際社会に貢献できる技術者の養成

2. 専攻科のディプロマポリシー

仙台高等専門学校は目標とする人材を育成するため、本校に在籍し専攻科課程において以下に掲げるような能力・姿勢を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、修了を認定する。

- ① 実践的技術者としての高度にかつ幅広い基本的能力・素養
- ② 融合複合領域におけるエンジニアリングデザイン能力
- ③ 国際的に通用するコミュニケーション能力
- ④ 社会的責任を考えて研究・開発する能力
- ⑤ 高度な実践的技術者に求められるチームワーク力、リーダーシップ力、企画調整力

3. 専攻科のカリキュラムポリシー

ディプロマポリシーに掲げた能力の育成を目的に、専攻科では、準学士課程で培った実践的かつ創造的能力、及び人間力を更に高め、融合複合領域において国際的に通用する高度な実践的技術者を養成するため、以下の内容を備えたカリキュラムを編成する。

- ① 準学士課程で培った実践的技術者としての基本的能力・素養をより高度にかつ幅広く習得することが可能な、一般・専門科目群を配置する。
- ② 融合複合領域におけるエンジニアリングデザイン能力を育成するために、専攻実験・演習、専攻研究等の異なる技術の創造的な融合に取り組む科目を配置する。
- ③ 国際的に通用するコミュニケーション能力を育成するために、英語、専攻英語、専攻研究等の日本語・外国語による討論や対外的な研究発表を行う科目を配置する。
- ④ 社会的責任を考えて研究・開発する能力を育成するために、倫理観を涵養する技術者倫理、思想史、及び地域・企業と連携して教育するインターンシップ等の科目を配置する。
- ⑤ 高度な実践的技術者に求められるチームワーク力、リーダーシップ力、企画調整力を育成する科目、創造工学演習、専攻実験・演習、専攻研究等を配置する。

これらの科目群に係る単位修得の認定は、定期試験並びに小テスト、レポートなどの成績を総合的に評価し認定する。

科目の成績は、下記の基準により評価する。

- S (90～100点) 特優
- A (80～89点) 優
- B (70～79点) 良
- C (60～69点) 可
- D (0～59点) 不可

情報電子システム工学専攻

1. 目的

専攻科は、高等専門学校における教育の基礎の上に、精深な程度において工業に関する高度な専門的知識及び技術を教授研究し、もって広く産業の発展に寄与する人材を育成することを目的としています。

情報電子システム工学専攻は、最先端の情報・電子製品を構成している情報・電子システム及びその融合技術に精通し、人間・社会・環境等に優しい技術開発に関与できる高度なエンジニアリングデザインの能力を身に付けた、ものづくり日本の伝統を承継できる国際的に通用する技術者の養成を目指しています。

2. 情報電子システム工学専攻の修業年限及び修了要件

(1) 修業年限 2年

(2) 修了要件 専攻科に2年以上在学し、当該専攻で開設されている全ての必修科目の単位数を含め62単位以上（一般科目10単位以上、専門科目52単位以上）を修得すること。

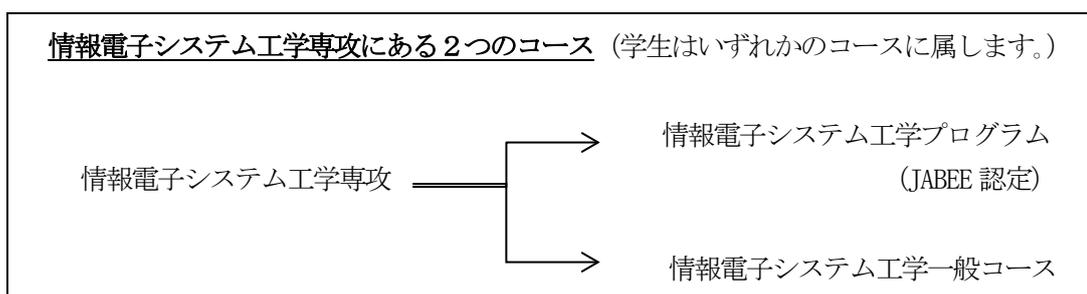
情報電子システム工学プログラムの場合は、5の「情報電子システム工学プログラムについて」の項を参照してください。

3. 情報電子システム工学専攻の特色

本専攻には、日本技術者教育認定機構（JABEE）の認定を受けたコース（情報電子システム工学プログラム）と、認定を受けていないコース（情報電子システム工学一般コース）とがあります。

どちらのコースでも、大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を得ることが可能です。認定を受けていないコースの修了要件は、情報電子システム工学専攻の修了要件と同じです。認定を受けたコースの登録要件と修了要件は、5の「情報電子システム工学プログラムについて」の項で明記します。

なお、各コースへの所属は、本人の希望により、1年次の4月中に決定しますが、その後のコース変更は原則として認められません。



対応する準学士課程の分野：電気工学、電子工学、情報工学など
大学改革支援・学位授与機構の審査における専攻の区分：電気電子工学、情報工学

4. 学位（学士）の取得方法

大学改革支援・学位授与機構の認定を受けた高等専門学校の特攻科で2年以上にわたって62単位以上を修得し、同機構の審査に合格した者は学士の学位を取得できます。

学位の申請には審査手数料として32,000円が必要となります。

従来は学生個人が学位授与機構の試験を受けて学位を取得する方式で行ってきましたが、平成27年度に本専攻は同機構の特例適用認定を受けたことで、現在は学校が申請者全員分をまとめて学位授与機構に提出し、一括審査される方式で行っています。

なお、①本校以外の教育機関からの入学（本校でキャンパスが異なる場合も含む）や、②本校準学士課程卒業後、期間を置いて入学する場合、③本校準学士課程において留年した場合は、本校の授業科目と単位の読替を行いますが、その読替状況によっては特例適用による学位申請が行えない場合がありますので、出願受付開始前に本校広瀬キャンパス学務課までご相談ください。特例適用による学位申請が行えない場合は、学生個人が学位授与機構の試験を受けて学位を取得する従来方式となります。

※②③とも、教育課程に変更が無い場合は特例適用による方式となります。

5. 情報電子システム工学プログラムについて

(1) プログラムの概要

準学士課程4年次から専攻科2年次までの4年間は、「情報電子システム工学プログラム」に基づいた教育が行われます。

本教育プログラムは2002年度のJABEE（Japan Accreditation Board for Engineering Education：日本技術者教育認定機構）の認定を受け、4年制大学の教育内容が保証されるとともに、国際化に対応したものとして高い評価を得ているものです。

プログラム修了生は次のような資格を得ることができます。

- (1) 技術士第1次試験を免除されて直接「修習技術者」となる。
- (2) 将来、規定された条件の下での実務経験を経て、最短4年で技術士の受験資格が得られる。

〔プログラムの学習・教育到達目標〕

情報電子システム工学プログラムでは、以下の5点に掲げるような能力・姿勢を身に付けることを学習・教育到達目標としています。

- (A) 実践的技術者としての高度でかつ幅広い基本的能力・素養
 - (A-1) 数学・自然科学・情報技術に関する知識の習得とそれらを応用する能力
 - (A-2) 当該分野において必要とされる専門知識とそれらを応用する能力
 - (A-3) 自主的、継続的に学習する能力
- (B) 融合複合領域におけるエンジニアリングデザイン能力
 - (B-1) 種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
 - (B-2) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力
- (C) 国際的に通用するコミュニケーション能力
 - (C-1) 英語による表現能力と国際性の獲得：「専攻英語Ⅰ」「専攻英語Ⅱ」
 - (C-2) 専門分野に関する表現能力：「専攻研究Ⅰ」「専攻研究Ⅱ」
- (D) 社会的要請を考えて研究・開発する能力
 - (D-1) 物事を幅広い視点から考えることができ、偏らない判断のできるエンジニア

(D-2) 技術の発展が社会や環境に及ぼす効果や影響を、把握・評価できるような、技術者倫理を
 しっかり身につけたエンジニア

(E) 高度な実践的技術者に求められるチームワーク力、リーダーシップ力、企画調整力

(JABEE 認定基準 基準1.2の知識・能力観点)

- (a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養
- (b) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者の社会に対する貢献と責任に関する理解
- (c) 数学、自然科学及び情報技術に関する知識とそれらを活用する能力
- (d) 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを活用する能力
- (e) 種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
- (f) 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力
- (g) 自主的、継続的に学習する能力
- (h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力
- (i) チームで仕事をするための能力

各学習・教育到達目標〔A～E〕が基準1.2の知識・能力観点(a)～(i)を主体的に含んでいる場合には◎印を、付随的に含んでいる場合には○印を記入しています。

基準1.2の 知識・能力 観点 学習・教育目標	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)	(i)
A-1			◎						
A-2				◎					
A-3							◎		
B-1					◎				
B-2								◎	
C-1	○					◎			
C-2						◎			
D-1	◎								
D-2		◎							
E									◎

さらに、このプログラムの修了には、大学改革支援・学位授与機構より学士の学位を得ることも、その必要な条件となっています。なお、大学改革支援・学位授与機構の審査に合格することにより「学士(工学)」の学位を取得し、大学卒業と同等となるとともに、大学院の受験資格を得られます。

[プログラム登録者の決定方法]

高専の4年、5年において、以下に示す科目を60点以上で修得していることが必要条件です。

- | |
|---|
| 技術者倫理に関する科目：1単位以上 |
| 数学（応用数学など）に関する科目：2単位以上 |
| 自然科学に関する科目：4単位以上 |
| 情報処理に関する科目：1単位以上 |
| 専門基礎（電磁気学、電気／電子回路など）に関する科目：4単位以上 |
| 工学実験（創造的製作を含む）に関する科目：5単位以上（卒業研究を含めてもよい） |

ただし、本校広瀬キャンパスの準学士課程を卒業した学生については、添付の「学習・教育到達目標とプログラム対応科目」の表に上げられている科目とします（これは上記の条件を満たしています）。

また、カリキュラム上、やむを得ない理由で上記科目の履修ができなかった学生は、専攻科在籍中に授業時間割上可能な範囲で、専攻科修了要件には含まれない自由聴講科目として履修することができます。

なお、専攻科入学後、条件を満たしている学生について、その意志を確認してプログラム登録者とします。

(2) 「情報電子システム工学プログラム」修了要件

- (1) 高専の4年、5年の課程において、指定の科目を60点以上で修得していること。
- (2) 学習・教育到達目標とプログラム対応科目の表に指定されている条件を満たした上で、専攻科の修了要件も満たしていること。
- (3) 大学改革支援・学位授与機構より、学士の学位を受けること。

5. 修了後の進路

平成5年度に仙台電波工業高等専門学校に専攻科設置後、867名が修了しており、近年の修了生の進路は次のとおりです。

令和6年度修了生

就 職 先
アイリスオーヤマ(株)、アルプスアルパイン(株)、(株)EMD、NEC ソリューションイノベータ(株)、NEC ネットエスアイ(株)、NTT アノードエナジー(株)、NTT 東日本(株)、(株)オリエンタルランドクオリカ(株)、スターツ出版(株)、セイコーエプソン(株)、セコム(株)、テックファームホールディングス(株)、東京エレクトロン(株) [2]、東北電力(株)、トヨタ自動車東日本(株)、(株)ねこまた、パイオニアシステムテクノロジー(株)、パナソニック コネクト(株) [2]、(株)フォトリテックラティス、(株)マネーフォワード、三菱電機エンジニアリング(株)、(株)LIXIL
進 学 先
東北大学大学院工学研究 [2]、東北大学大学院情報科学研究科、豊橋技術科学大学大学院工学研究科

令和5年度修了生

就 職 先
アビームシステムズ(株)、(株)エヌ・ティ・ティ エムイー [4]、(株)NTT データ [2]、北日本電線(株)、京セラコミュニケーションシステム(株) [2]、(株)コアコンセプト・テクノロジー、さくらインターネット(株)、CTC システムマネジメント(株)、通研電気工業(株)、(株)テンダ、東京エレクトロン(株) [2]、(株)ドコモCS 東北、日本放送協会 (NHK)、(株)ハイマックス、東日本電信電話(株)、(株)日立産業制御ソリューションズ、(株)フォトリテックラティス、ポート(株)
進 学 先
東北大学大学院工学研究科、東北大学大学院情報科学研究科 [2]、奈良先端科学技術大学院大学情報科学領域

令和4年度修了生

就 職 先
(株)アイ・エス・ビー [2]、アイリスオーヤマ(株) [3]、(株)エヌエスシー、キヤノンメディカルシステムズ(株)、京セラコミュニケーションシステム(株)、KDDI(株)、サンリツオートメイション(株)、セコム工業(株)、(独) 国立高等専門学校機構仙台高等専門学校 [2]、(株)中央コンピュータシステム、東京電力ホールディングス(株)、東北電力(株)再生可能エネルギー事業部、日信電子サービス(株)、(株)パナソニック コネクト、(株)日立ソリューションズ東日本、(株)メンバーズ
進 学 先
東北大学大学院工学研究科 [2]、東北大学大学院情報科学研究科、長岡技術科学大学大学院工学研究科 他

生産システムデザイン工学専攻

1. 目的

専攻科は、高等専門学校における教育の基礎の上に、精深な程度において工業に関する高度な専門的知識及び技術を教授研究し、もって広く産業の発展に寄与する人材を育成することを目的としています。生産システムデザイン工学専攻は、持続可能な社会の実現に資する、分野にとらわれない技術の複合・融合化や、全ての工程を見通した総合的な技術革新に携わることのできる、高度なエンジニアリングデザイン能力を身に付けた、国際的に通用する技術者の養成を目指しています。

2. 生産システムデザイン工学専攻の修業年限及び修了要件

- (1) 修業年限 2年
- (2) 修了要件 専攻科に2年以上在学し、学則に定める授業科目を履修し、一般科目8単位以上、専門科目54単位以上、計62単位以上を修得すること。

3. 生産システムデザイン工学専攻の特色

仙台高等専門学校専攻科生産システムデザイン工学専攻は次の2コースから構成され、その教育はコース毎に行われます。

- (1) 生産システム工学コース
- (2) 建築デザイン学コース

コースへの配属は各自の希望に基づき、決定されます。
各コースの教育方針は以下のとおりです。

(1) 生産システム工学コース

人間と環境との調和を重視し、複数領域の技術を融合して社会が必要とする新技術の開発と高度な生産システムを構築・発展させることができる技術者を養成する。コースでは、準学士課程で習得した機械工学系、電気工学系、材料工学系の専門の基礎の上に、更に高度な専門技術を学ぶとともに、一般科目及び専門基礎科目として多面的に展開する科目群を配置することにより、積極的に他分野の技術も学習する。これらの技術を、指導教員の下で研究を行う専攻研究、企業等でのインターンシップ、複合的なテーマの広範な実験・実習等を通して研鑽し、人間と環境との調和を重視する複眼的視野の下に応用、展開できる能力を身に付けさせる。

対応する準学士課程の分野：機械工学、電気工学、電子工学、材料工学、化学工学など

大学改革支援・学位授与機構の審査における専攻の区分

：機械工学、電気電子工学、材料工学

(2) 建築デザイン学コース

建築学、デザイン学、人間科学に加えて、幅広い工学基礎をも包含した科目群を総合的に学び、将来明るく幸せな暮らしができる住まいから都市まで、将来質の高い住空間、社会環境のデザイン全般に携わる責任感のある公平公正な人材を育成する。コースでは、準学士課程5年間で学ぶ建築設計、建築計画、建築環境工学、建築構造、デザイン学、人間科学に立脚し、建築関連科目に関しては、それぞれの問題解決能力を高めるための科目を配置し、デザイン学、人間科学に関しては、その建築への応用を目指した科目を配置する。さらに、幅広い工学基礎科目を加えた教育課程編成とすることにより、これらを応用できる総合力を習得させる。

対応する準学士課程の分野：建築学、土木工学、建設工学など

大学改革支援・学位授与機構の審査における専攻の区分：建築学

4. 学位（学士）の取得方法

大学改革支援・学位授与機構の認定を受けた高等専門学校の特攻科で2年以上にわたって62単位以上を修得し、同機構の審査に合格した者は学士の学位を取得できます。

学位の申請には審査手数料として32,000円が必要となります。

従来は学生個人が学位授与機構の試験を受けて学位を取得する方式で行っていましたが、平成27年度に本専攻は同機構の特例適用認定を受けたことで、現在は学校が申請者全員分をまとめて学位授与機構に提出し、一括審査される方式で行っています。

なお、①本校以外の教育機関からの入学（本校でキャンパスが異なる場合も含む）や、②本校準学士課程卒業後、期間を置いて入学する場合、③本校準学士課程において留年した場合は、本校の授業科目と単位の読替を行いますが、その読替状況によっては特例適用による学位申請が行えない場合がありますので、出願受付開始前に本校名取キャンパス学生課までご相談ください。特例適用による学位申請が行えない場合は、学生個人が学位授与機構の試験を受けて学位を取得する従来方式となります。

※②③とも、教育課程に変更が無い場合は特例適用による方式となります。

5. 修了後の進路

平成10年度に宮城工業高等専門学校に専攻科設置後、906名が修了しており、近年の修了生の進路は次のとおりです。

令和6年度修了生

就 職 先	
生産システム工学コース	建築デザイン学コース
アクセンチュア(株)、(株)アルプス技研、SMC(株)、NEC ネットエスアイ(株)、(株)NHK テクノロジーズ、(株)NTK セラテック [2]、北日本電線(株)、京セラコミュニケーションシステム(株)、キョーユー(株)、(株)シュヴァルベル、中外製薬工業(株)、(株)ディスコ、東京エレクトロン(株)、東北電力(株)、トヨタ自動車東日本(株)、日東電工(株) [2]、パナソニックオートモーティブシステムズ(株)、パナソニックコネクタ(株) [2]、東日本旅客鉄道(株)、(株)明電舎、メタウォーター(株)、(株)U-NEXT HOLDINGS	(株)イースペース設計、(株)MBM、(株)オムニ設計、亀山建設(株)、大和ハウス工業(株)、(株)丹青社 [2]、東京ガスネットワーク(株)、東建コーポレーション(株)、戸田建設(株)、(株)ヒラテ技研、(株)U' plan
進 学 先	
東北大学大学院工学研究科 [2]、東北大学大学院情報科学研究科、九州大学大学院人間環境学科	

令和5年度修了生

就 職 先	
生産システム工学コース	建築デザイン学コース
artience(株)、旭化成(株)、ANA ラインメンテナンステクニクス(株)、岩沼市役所、キヤノンメディカルシステムズ(株)、共同カイテック(株)、三洋化成工業(株)、JX 金属(株)、(株)清水構造計画、仙台市役所、第一三共バイオテック(株)、Daigas エナジー(株)、デンカ(株)、東京ガスネットワーク(株)、トヨタ自動車東日本(株)、日産自動車(株)、日本電子(株)、バイスリープロジェクト(株)、パナソニックエナジー(株) [2]、フォトニックラティス(株)、福島県庁、富士通(株)、富士フイルムビジネスイノベーションジャパン(株)、メタウォーター(株)	NEC ファシリティーズ(株)、(株)クレディセゾン、(株)ケミカル工事、(株)清水構造計画、大東建託(株) [2]、東京都庁、(株)乃村工藝社、三菱地所コミュニティ(株)
進 学 先	
北海道大学大学院工学院、東北大学大学院工学研究科 [2]、東北大学大学院環境科学研究科 [3]、北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科、東北学院大学大学院工学研究科	

令和4年度修了生

就 職 先	
生産システム工学コース	建築デザイン学コース
アマゾンジャパン合同会社、インフォニオン テクノロジーズ ジャパン(株)、(株)ENEOS マテリアル鹿島工場、JX 金属(株)、セイコーインスツルメンツ(株)、田中貴金属工業(株)、(株)タマディック、DIC(株)、DMG 森精機(株)、東京エレクトロングループ、東芝プラントシステム(株)、東北電力(株)、日機装(株)、日東電工(株)、日本化学産業(株)、ハイウェイ・トール・システム、パナソニックコネクト(株)、富士通(株)、富士フイルムビジネスイノベーションジャパン(株) [2]、(株)三井化学分析センター、三菱重工業(株)	(株)NTT ファシリティーズ、(株)ザイマックス、(株)三栄建設、ジョンソンコントロールズ(株)、東京電力ホールディングス(株)、東電不動産(株)、(株)ネクストビート、(株)松下産業、宮城県庁
進 学 先	
北海道大学大学院工学院、東北大学大学院工学研究科 [5]、早稲田大学大学院情報生産システム研究科	

令和9年度 仙台高等専門学校
専攻科入学者選抜

調 査 書

		受験番号	※		
		志望専攻	工学専攻		
ふりがな			学 校	国 立	高等専門学校
氏 名			・ 学科名	公 立	学 科
生年月日	西暦	年 月 日	西暦	年 月	入学・編入学・転入学
性 別	男 ・ 女		西暦	年 月	卒業・卒業見込
成 績 証 明 書	出身高等専門学校所定の用紙を使用し、当該学校長が作成し厳封したものを添付してください（成績の評価を標語で記入の場合は、標語の評点基準を明示してください）。				
評 価 ポ イ ン ト	（※1）3・4年次：		（※2）3年次： 4年次：		
（※1） 学 年 席 次	学年	順 位	標 語 の 評 点 基 準		
	1年	人 中 位	S	秀	点～ 点
	2年	人 中 位	A	優	点～ 点
	3年	人 中 位	B	良	点～ 点
	4年	人 中 位	C	可	点～ 点
	5年	人 中 位	D	不可	点～ 点
卒業研究 題 目					
在 学 中 の 状 況	休学期間：				
	休学理由：				
記載者氏名					印
上記のとおり相違ないことを証明する。					
西暦 年 月 日					
所在地					
学校名					
学校長名					
					職印

- ・※Web出願エントリー後、受験票・写真票に表示される受験番号を記入してください。
- ・在学中の状況欄は、人物・課外活動・生活態度等を記入してください。
- ・（※1）は情報電子システム工学専攻、（※2）は生産システムデザイン工学専攻の志願者のみ、記入してください。

評価ポイントは、募集要項2ページの計算方法により、情報電子システム工学専攻は3年次と4年次を合わせて計算し、生産システムデザイン工学専攻は3年次、4年次を別に記入してください。学年席次は、統合高専においては、キャンパス内席次、又、学年席次が不可能な学校は、学科席次で読み替えてください。

推薦による選抜用

受験番号	※
志望専攻 (志望する専攻を○ で囲んでください)	情報電子システム工学専攻 生産システムデザイン工学専攻

推 薦 書

西暦 年 月 日

仙台高等専門学校長 殿

学 校 名

学校長名

印

下記の者は、学業成績、人物共に優秀であり、貴校専攻科入学者としてふさわしい者と認められるので推薦します。

記

所 属 : _____ 学科 _____ コース _____

氏 名 : _____

生年月日 : 西暦 年 月 日生

記載者の 職・氏名	印
--------------	---

推 薦 事 由	
そ の 考 他 事 の 由	

※Web出願エントリー後、受験票・写真票に表示される受験番号を記入してください。

【仙台高等専門学校準学士課程在籍者用】

推薦による選抜用

受験番号	※
志望専攻 (志望する専攻を○ で囲んでください)	情報電子システム工学専攻 生産システムデザイン工学専攻

推 薦 書

西暦 年 月 日

仙台高等専門学校長 殿

コース主任名

印

下記の者は、学業成績、人物共に優秀であり、貴校専攻科入学者としてふさわしい者と認められるので推薦します。

記

所 属 : _____ コース

氏 名 : _____

生年月日 : 西暦 年 月 日生

※Web出願エントリー後、受験票・写真票に表示される受験番号を記入してください。

入学志願者自己調書

		受験番号	※
志望専攻 (該当に○)	情報電子システム工学専攻 ・ 生産システムデザイン工学専攻		
所 属 (学校/ 学科) (企業/課・係)		ふりがな	
		氏 名	
① 進学 of 動機			
② 大学編入ではなく 本校専攻科を 志望する理由			
③ 学科在学中に力 を入れたこと			
④ 卒業研究題目			
⑤ 卒業研究要旨			

◎ 両面印刷のこと

受験番号	※
ふりがな 氏名	
志望専攻 (該当に○)	情報電子システム工学専攻 生産システムデザイン工学専攻

<p>⑥ 専攻科で力を入れたいこと（専攻研究以外で）</p>	
<p>⑦ 専攻研究に関する抱負</p>	
<p>⑧ 専攻科修了後の進路について</p>	

以上

※Web出願エントリー後、受験票・写真票に表示される受験番号を記入してください。

※ワープロソフトを使用して作成する場合は、フォントサイズは 10.5 ポイントとし、枠を動かさないでください。

社会人特別選抜用

受験番号

※

受 験 承 諾 書

西暦 年 月 日

仙台高等専門学校長 殿

企業等名：

所属長：

印

下記の者が、仙台高等専門学校専攻科 社会人特別選抜検査を受験することを承諾します。

記

出願者氏名：

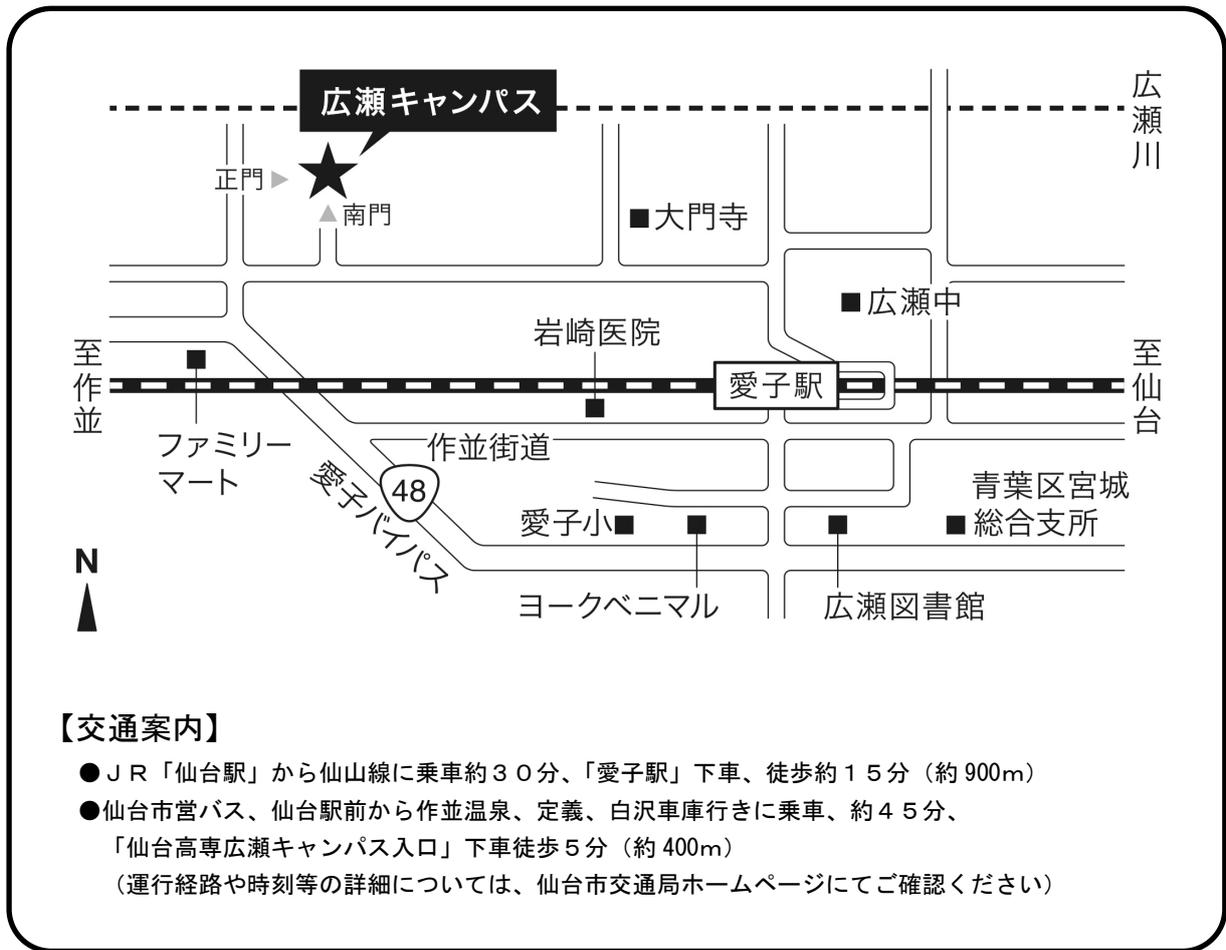
生 年 月 日： 西暦 年 月 日（ 歳）

所属(部課等)：

在 職 期 間： 自 西暦 年 月 日
至 現在

※Web出願エントリー後、受験票・写真票に表示される受験番号を記入してください。

仙台高専・広瀬キャンパス案内図



仙台大専・名取キャンパス案内図

